

## <予防接種の注意事項>

予防接種は、体調の良いときに受けるのが原則です。

特にお子さんの場合、保護者の方はお子さんの体質や体調など健康状態に気を配ってください。また、慢性疾患をお持ちの場合や体調に不安がある場合は、あらかじめかかりつけの医師に相談しましょう。

### ●一般的な注意事項

- ① 受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応などを理解しましょう。わからないことがあれば、かかりつけの医師又は住民課健康推進グループへ事前に問い合わせしておきましょう。
- ② 受ける前日は、入浴（またはシャワー）をし、身体を清潔にしましょう。
- ③ 当日は、体温を測るなど体調に留意し、普段とかわったことがないか確認しましょう。特にお子さんの場合は、保護者の方がよく観察してください。体調がすぐれない場合は、無理をせず、接種を取りやめましょう。
- ④ お子さんの場合、日ごろからお子さんの健康状態をよく知っている保護者が連れて行きましょう。
- ⑤ お子さんの場合、母子健康手帳を必ず持参してください。母子健康手帳は予防接種の記録を記入するとともに、予防接種履歴を確認するために必要です。接種による事故を防ぐためにも必ず持参しましょう。

### ●病気のあとの接種間隔

病気にかかったあとは、身体の回復をまって次の予防接種を受けましょう。

一般的には、下記のような間隔をあけます。

かかった病気	間 隔
麻疹（はしか）	→ 治ってから4週間程度
風しん、水ぼうそう、おたふくかぜなど	→ 治ってから2～4週間程度
突発性発疹、手足口病など	→ 治ってから1～2週間程度

### ●予防接種を受けることが出来ない人

- ① 明らかに発熱（**通常 37.5℃以上をいいます**）のある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人  
急性の病気で薬を服用している人は、その日は見合わせるのが原則です。
- ③ 接種予定の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシー（通常接種 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応）を起こしたことがある人
- ④ BCG接種においては、外傷などによるケロイドが認められる人
- ⑤ その他、医師が不相当と判断した場合

### ●予防接種を受ける場合、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- ② 過去の予防接種で 2日以内に発熱のみられた人及び発しん、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
- ④ 免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ⑤ 接種しようとする接種液の成分に対して、アレルギーを起こす恐れのある人  
(皮内テストを行う場合もありますが、偽陽性または偽陰性を呈することがあるため、接種の可否判定に迷う場合は専門施設へ紹介される場合もあります。)
- ⑥ BCGについては、過去に結核患者と長期の接触があった場合など、感染の疑いのある人

※上記に該当する方は、予防接種前にかかりつけ医に診てもらい、接種を受けてよいかどうか判断してもらいましょう。

● 予防接種を受けた後の一般的な注意事項

- ① 予防接種を受けた後30分間程度は医療機関で、または医師の診察がすぐ受けられる場所で様子を観察しましょう。
- ② 接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間程度は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差支えありませんが、接種部位を必要以上にこすらないようにしましょう。
- ④ 当日は、激しい運動（大人の方は過度なアルコール摂取も）は避けましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、すみやかに医師の診察を受けると同時に、厚真町役場住民課健康推進グループにもご連絡ください。